

会議の経過	
開会年月日時刻	令和5年12月21日(木) 午後3時00分
閉会年月日時刻	令和5年12月21日(木) 午後4時39分
会議の場所	館林市役所 研修室
会議次第	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 会議録署名委員の指名 3. 前回会議録の承認 4. 教育長事務報告 5. 議事 <ul style="list-style-type: none"> 議案第46号 臨時代理の承認を求めることについて(令和5年度教育費補正予算) (非公開) 議案第47号 令和6年度奨学資金(新規募集)貸与候補者の決定について (非公開) 6. その他 7. 閉会 	

会議の経過

出席委員	<p>第1番 木戸浩之 第2番 栗原昇 第3番 金子千秋 第4番 川島健治 第5番 堀口哲哉</p>
欠席委員	<p>第1番 第2番 第3番 第4番 第5番</p>
提案説明のため出席した者	<p>教育長 川島健治 教育次長 始澤勝也 教育総務課長兼学校給食センター所長 木村和好 生涯学習課長 廣澤篤行 参事兼学校教育課長 井戸健二 文化振興課長 中村豊 スポーツ振興課長 高橋一哲 向井千秋記念子ども科学館長 石崎治 図書館長 森田秀利 総括係長 折原嘉和 書記 横山瑠璃子</p>

会議の経過

教育長

それでは、定刻となりましたので、館林市教育委員会定例会を開会いたします。
(午後3時00分)

本日の日程は別紙のとおりです。

次に、日程第2 会議録署名委員を指名いたします。

今回の署名委員は3番 金子委員、5番 堀口委員を指名いたします。

次に、日程第3 前回会議録の承認については、後日読んでいただき承認するものとしてよろしいでしょうか。

(委員から「異議なし」の声あり)

教育長

異議ないものと認め、そのようにいたします。

次に、日程第4 教育長事務報告をいたします。

一般事項(1) 館林市議会令和5年第4回定例会が12月1日から12月14日まで行われました。一般質問では、14名の議員が質問を行いました。教育委員会関係では、4名の議員から質問を受け、岩上議員については私から、池森議員、平井議員、小林議員については、教育次長から答弁いたしました。まず、岩上議員からは、「体育等における暑さ対策」や「タブレット学習」、「里沼学習」、「部活動の地域移行」など、学校教育の充実について、様々な観点から質問を受け、現状や課題に対する対応などについて答弁いたしました。次に、池森議員からは、「学校給食における食育活動について」の質問を受け、学校給食の「食品ロス」や「食品廃棄物のリサイクル」、「食育活動」などに関して、給食残菜の発生状況や食べ残しを減らすための取組、リサイクルの状況、食育活動に対する考えなどについて答弁いたしました。続いて、平井議員からは、「学校図書の実況について」の質問を受け、学校図書の現状や、図書購入に関するふるさと納税等の活用、新聞の配備や学校司書の配置状況などについて答弁いたしました。最後、小林議員からは、「本市のスポーツ振興について」と「2029年(令和11年)開催の国民スポーツ大会について」の2つの質問を受けました。「スポーツ振興」に関しましては、ニーズの多様化や各種スポーツ団体、スポーツ施設等の現状、更には課題や今後に対する考えなどについて答弁いたしました。また、「国民スポーツ大会」に関しましては、組織体制を含めた準備状況などについて答弁いたしました。

私からの報告は、以上でございます。

続いて、教育委員会各課の処理事務報告ですが、議案書に記載されている事柄について補足説明等必要なものがありませんでしたら、説明をお願いします。何かございますか。

会議の経過

	(事務局から「なし」の声あり)
教育長	それでは今回の事務報告につきまして、質疑がありましたらお願いしたいと思えます。
金子委員	はい、教育長。
教育長	はい、金子委員。
金子委員	8ページの城沼公民館の行事について、11月24日と25日にちゃれんじクラブ「ナイトシェルター体験」とありますが、ナイトシェルター体験というのは聞いたことがないものでして、実際どのようなことを行ったのか教えていただいてもよろしいでしょうか。
生涯学習課長	はい、教育長。
教育長	はい、生涯学習課長。
生涯学習課長	お答えいたします。同事業は、城沼公民館で行われております少年少女教室の一環で行われたもので、災害時の避難生活を体験してもらおうと、市防災士連絡会の防災士をお招きし、1泊2日の宿泊体験を行ったものでございます。参加した小学3年生から6年生はダンボールを使って寝具を作成したり、新聞紙でスリッパを作ったりしました。また、夕食はお湯を入れるだけでお米が炊けるアルファ米と即席味噌汁を自分たちで作りました。参加者は避難生活の疑似体験を通して、用意されたものではなく、あるものを工夫して作り上げることの大切さについて学んでおりました。以上でございます。
金子委員	今は防災グッズなど様々な便利なものがありますが、災害時にそれらが身近にあるかということ、なかなかないですね。子どもたちに限りませんが、そのような中でもあるもので工夫して作っていくというのは、非常に大切なことだと思います。今の子どもたちにはそれが欠けているようなところもあったと思いますので、子どもたちにとってはすごく良い体験になったかと思います。それから、夜にお泊りをするということですね。お互いに協力し合うことや災害時における隣にいる人への気遣いなど、そちらも同様に子どもたちにとってはとても良い体験だと思います。これは城沼公民館でしか行っていないことですが、1か所だけではなく各学校区に公民館がありますので、公民館ごとに子どもたちにこのような体験をしてもらって、少しずつ広げていってほしいなと思います。
生涯学習課長	確かに、このような形で災害時の体験をするということは、なかなか子どもたちにとっても機会が少ないということもありますので、少年少女教室等の年間を通したカリキュラムの中に入るようにしていくことも必要かと思えます。その点につきましては、公民館と調整しながら進めさせてい

会議の経過

金子委員	ただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。
教育長	ありがとうございます。よろしくお願いいたします。
木戸委員	そのほか、いかがでしょうか。
教育長	はい、教育長。
木戸委員	はい、木戸委員。
木戸委員	記載されていませんが、本来であれば4ページに載る事業かと思います。昨年、上毛かるた大会がコロナの影響で中止になったというお話がありましたが、今年度も実施の予定はないという理解でよろしいでしょうか。
生涯学習課長	はい、教育長。
教育長	はい、生涯学習課長。
生涯学習課長	大変申し訳ございません。記載漏れであります。実際は令和6年1月21日（日）にございます。会場は城沼総合体育館空調工事等の関係で、郷谷公民館の裏にあります館林市民体育館を利用して行う予定になっております。現段階の参加者ですが、小学生個人の部が15名、小学生団体の部が10チームとなっております。以上でございます。
木戸委員	城沼総合体育館の工事による影響かと思っていたのですが、実施されるということで楽しみにしています。例年、体育館の中が非常に寒い状況で子どもたちが参加しているので、市民体育館で行う際はその辺りの環境を整えていただければありがたいと思います。
生涯学習課長	貴重なご意見ありがとうございます。風が吹き抜けないように対策をしながら大会の運営が成功裏に終わるよう努めてまいりたいと思います。
木戸委員	よろしくお願いいたします。
教育長	そのほか、ございますか。
栗原委員	はい、教育長。
教育長	はい、栗原委員。
栗原委員	公民館活動について、六郷公民館の自主消防訓練、西公民館の地域防災訓練等が入っていますが、その訓練の内容と、公民館で行う防災訓練等の課題等を教えていただければと思います。
生涯学習課長	はい、教育長。
教育長	はい、生涯学習課長。
生涯学習課長	お答えいたします。まず、六郷公民館で実施しました自主消防訓練から説明させていただきます。こちらにつきましては、館林地区消防組合の署員2名と東毛ビルサービスの職員立会いのもと、公民館1階の調理室から出火した想定で実施したものでございます。公民館長、公民館主事、指導員の公民館職員と当日公民館を利用されている方を対象に訓練を実施し、火

会議の経過

	<p>災発生から避難誘導の手順を確認いたしました。また、避難訓練終了後は野外にて水消火器による消火訓練を実施いたしました。続きまして、西公民館で行われた地域防災訓練について説明いたします。西公民館と第十小学校は令和4年度からコミュニティスクール化に伴い、令和4年度は開拓地区、令和5年度は大谷地区をモデル地区として指定し、地域防災訓練を実施しております。児童と保護者は一時集合場所である大志辺公園、あけぼの公園、大谷会館のいずれかに集合し、そこから防災まちづくり委員のメンバーとともに、学校までの経路に危険箇所等がないか確認しつつ歩きました。学校に到着後は第十小学校の学校公開に併せたオンラインでの防災学習についてクロスロードゲームを用いて行いました。災害時の対応について自分ならどうするかをイエスカノーで決めるシンプルなシミュレーションゲームを通じて、防災の心を育みました。終了後は新聞紙を使ったスリッパと食器作りを行いました。公民館における防災訓練の課題についてですが、公民館で防災訓練を行った場合、定期利用団体や各種講座の参加者が中心となってしまいますが、学校と地域が一緒に行うことで、子どものほかに保護者や地域住民の参加が見込まれる点が非常に良い点と考えております。以上でございます。</p>
栗原委員	<p>大々的に行っているのは西公民館と十小地区連絡会ということでよろしいでしょうか。</p>
生涯学習課長	<p>公民館内だけになってしまいますが、各公民館においても年1回自主防災訓練は六郷公民館と同様の形で実施している状況でございます。</p>
栗原委員	<p>各種団体があつたり地域が広がったりと大変だと思いますが、定期的の実施していただければありがたいと思います。ありがとうございました。</p>
教育長	<p>そのほか、ございますか、</p>
堀口委員	<p>はい、教育長。</p>
教育長	<p>はい、堀口委員。</p>
堀口委員	<p>2ページの後援についてです。2月にあります、USF Sports Camp in群馬の内容を教えてください。</p>
教育総務課長	<p>はい、教育長。</p>
教育長	<p>はい、教育総務課長。</p>
教育総務課長	<p>こちらの後援等に関しましては、申請書を見ながらご説明いたします。申請者をご覧のとおりですが、東京都に住所がございます。事業名はUSF Sports Camp in群馬ですので、群馬以外でも活動しているということになります。全国的に展開している団体です。内容ですが、いわゆるトップアスリートの方々からスポーツの直接指導を受けます。体を</p>

会議の経過

<p>堀口委員 教育総務課長</p>	<p>動かす楽しさや競技の多様性に触れるということで、子どもたちの能力や関心を引き出すというのが主な目的になっております。募集は小学3年生から6年生ということになっております。参加費は1万5,000円で、赤城青少年交流の家で実施することになっております。募集上はそのような形になっております。説明は以上でございます。</p> <p>募集はこれからということでしょうか。</p> <p>後援承認を受けてから学校を経由して募集をかけていくものだと思います。ただ、群馬県ですので県全体でかけていくと思います。以上でございます。</p>
<p>堀口委員 教育長 栗原委員 教育長 栗原委員</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>そのほか、いかがでしょうか。</p> <p>はい、教育長。</p> <p>はい、栗原委員。</p>
<p>生涯学習課長 教育長</p>	<p>3ページにある生涯学習課の関係ですが、社会人権指導者養成講座へ参加される方について教えていただきたいのと、参加者が1回目は50人で、次は19人、そして29人と人数が異なるのはなぜか教えていただければと思います。</p> <p>はい、教育長。</p> <p>はい、生涯学習課長。</p>
<p>生涯学習課長</p>	<p>お答えいたします。同講座は人権教育を担当する立場にある方々を対象に、普段から人権に対する意識を養成し、指導的な立場として活動できることを目的として開催しているものでございます。3回講座となっております。第1回目は部落問題の現状と課題と題しまして、部落解放同盟群馬連合会の事務局長をお招きし、ご講演をいただきました。第2回につきましてはERIC国際理解教育センターの代表をお招きし、演習参加体験型人権セミナーという参加体験型の人権学習を実施いたしました。第3回目は一般社団法人J-CAPTAトレーニングディレクターの方をお招きし、子どもの人権についての講義及び演習を行った状況でございます。参加人数が異なる件につきましては、この講座は毎年3回行っておりまして、講座ごとに募集をかけているような状況になっております。そういった意味で参加人数にばらつきがどうしても出てしまうというのが現状でございます。以上でございます。</p>
<p>栗原委員 生涯学習課長 栗原委員</p>	<p>3回続けて参加するという縛りはないのですか。</p> <p>縛りは特にございません。</p> <p>理解しました。ありがとうございます。</p>

会議の経過

教育長	そのほか、いかがでしょうか。
堀口委員	はい、教育長。
教育長	はい、堀口委員。
堀口委員	同じく3ページの11月の行事について、11月9日のケータイ・インターネット問題啓発講習会にはどのような方が参加されたのかということと、11月21日と22日の館林ユネスコ協会視察研修は行先が静岡県掛川市等ということですが、どのような場所を視察されたのか教えていただければと思います。
生涯学習課長	はい、教育長。
教育長	はい、生涯学習課長。
生涯学習課長	はじめに、11月9日に行われましたケータイ・インターネット問題啓発講習会についてお答えいたします。こちらの講習会につきましては、市青少年育成推進員連絡協議会と市青少年センター補導員会の共催として実施いたしました。昨年度から始めて2回目の講習会となります。今回につきましては、「インターネットの光と影を知ろう」と題しまして、NPO法人ぐんま子どもセーフネット活動委員会のインストラクターをお招きし、実施したものでございます。以上でございます。
堀口委員	一般の方は対象ではないということよろしいですか。
生涯学習課長	こちらにつきましては、市青少推の方と補導員の方に限定されての講習会となっております。続きまして、11月21日と22日に行われました館林ユネスコ協会の視察研修についてお答えいたします。今回はユネスコ協会のメンバーのうち12名が参加されました。研修先につきましては、掛川市では吉行淳之介文学館とねむの木子ども美術館「どんぐり」及び「緑の中」を見学いたしました。続きまして、浜松市においては秋野不矩美術館を、静岡市では登呂博物館と登呂遺跡、そして芹沢銈介美術館を見学し、見識を深めてきました。以上でございます。
堀口委員	ありがとうございます。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
金子委員	はい、教育長。
教育長	はい、金子委員。
金子委員	14ページの医療費請求状況について、先月と比べて中学校の請求金額がかなり上がっておりますが、どのようなことが要因としてあったのでしょうか。また、災害発生状況を見ると小学校では休憩中に、中学校では課外指導中などが多いようですが、そのほかにも教育課程に基づく授業中の災害が今月は多いと思われました。どのような怪我等があったのでしょうか。

会議の経過

学校教育課長	はい、教育長。
教育長	はい、学校教育課長。
学校教育課長	2点ご質問をいただきました。まず、1点目の中学校における請求ですが、おっしゃるように確かに金額が増えております。12月請求分につきましては、中学校の方で特に骨折や関節を痛める打撲・捻挫等といった怪我が多かったのですが、その中でも今申し上げた骨折については4日間の入院事案がございました。もう1件の入院につきましては、部活動中の怪我に係る5日間の入院でした。トータルで9日間の入院になるのですが、この2つの事案だけで資料に示されている請求金額の半分以上を占めるというようなことがあり、それが一つの大きな理由になっているかと思えます。それから、もう1点の教育課程に基づく授業中につきましては、これは体育の授業が中心になっております。小学校におきましては、授業中に鉄棒で少し首を捻ってしまったり、着地を失敗してしまったりという話や、また、中学校では骨折ということ为先ほど申し上げましたが、跳び箱で着地に失敗してしまう、マット運動等で関節を痛めてしまうなど、そのようなケースが見えた実情であります。以上です。
金子委員	入院したお子さんはもう退院なさっていると思いますが、やはり継続的に通院などされていらっしゃるのでしょうか。
学校教育課長	退院はしましたが、その後やはり長い期間継続して通院していますので、それが金額に加算されている状況もございます。以上です。
金子委員	わかりました。ありがとうございます。
教育長	そのほか、いかがでしょうか、
木戸委員	はい、教育長。
教育長	はい、木戸委員。
木戸委員	同じく14ページについて、児童生徒の不登校が増えている中で令和5年度11月が155件となっておりますが、過去を見るとおよそ年度末少し前の1月や2月に増えてきて、令和元年度は1月に94人、2年度2月に131人、3年度2月に128人、4年度2月に151人となっております。例年の傾向ですと恐らく今後増えていくのかなと懸念しておりまして、令和5年度5月にコロナが5類に移行した中で増え続けていることから、コロナ禍による増加という認識でいたのですが、どうもそうでもないのかなと最近感じています。原因としては無気力や生活リズムの乱れ等を挙げていただいておりますが、実際、無気力になる理由や生活リズムが乱れる理由は何かと疑問に思っておりまして、その辺りについてわかる範囲で、もしくは想像できれば教えていただければと思います。

会議の経過

<p>学校教育課長</p>	<p>はい、教育長。</p>
<p>教育長</p>	<p>はい、学校教育課長。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>無気力、文科省では無気力不安というような累計、生活リズムの乱れと していますが、本市におきましては昨年同時期に比べて20件以上がこの理 由によって、特に中学校の生徒が増えております。これは本市だけではなく、 国や県でも同様なことがいえまして、もちろんそれぞれの理由や事情 は異なってはおりますけれども、大きく2つの観点から申し上げられると 思います。1点目、これは文科省の方の見方ですが、コロナ禍で学校や家 庭の環境が変わり、生活リズムが崩れやすい状況が出て、それが今でも続 いているというような状況です。本市におきましてもこの観点からします と、出席停止等の措置をきっかけに、極端な話学校に行かなくてもいいと いうような考えを持つ子どもや親が出てきているというような実情もご ざいます。担任を中心として家庭訪問をしようとしても、なかなか親に困 り感がない、そういった親の様子を見て子どもも「別に学校に行かなくて もいいかな」といった無気力というものが原因の一つとしてつながってい るのかなということも考えられます。また、もう1つの観点として、これ は学校での保護者面談や研究所での来所相談の中で不登校の事案が多い ものですから、そういった中で話されている内容です。不安というのは、 クラスなど大勢の中にいることを不安に感じる、教室の中では当然子ども たちの様々な声がしますが、そういう子どもたちの声に不安を覚えてしま うというような話が出るケースもあります。また、家庭の方を鑑みたとき に、母親が忙しくてなかなか子どものことを構ってやれないといった様子 から不安を感じるとか、出産を控えた母に対してどうしてもお母さんの方 が感情の波が出ますので、それが子どもにも影響してしまうというような ケースも複数相談としては出ている状況です。また、発達上の様々な障が いから不安につながるようなところも報告として上がっているような状 況があります。いずれにしても、不登校という中からどうしても生活習慣 が乱れる、家にいる時間が多くなりゲームやスマホに興じる時間が増え る、その辺りから無気力や生活リズムの乱れにつながり、それが悪循環と なって今に至るというようなケースも考えられると認識している次第で す。とは申しあげても、やはり学校でしか学べないものもありますし、体 験活動の充実なども含めて、本課としても魅力ある学校づくりを継続的に 学校の方にも求めるとともに、提案などもしてまいりたいと考えておりま す。以上となります。</p>
<p>木戸委員</p>	<p>会社の場合はリモートワークなど、ITが普及することによって会社に行</p>

会議の経過

	<p>かなくても、学校に行かなくとも、ある程度のことのできるという部分が良い点でもあります。そういったインフラが整ったことによって、子どもたちが機器を使う機会が多くなるというところで、先ほどお話がありましたスマホやゲーム、もしくはSNSの活用、その辺りが子どもたちの、子どもたちに限ったことではありませんが、影響していることが大きいのかなと個人的には思っております。解決するのは非常に難しいと思いますが、講習会等をより強化することによって、何とかそのような傾向を少なくできればいいと思っております。以上です。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>おっしゃるように、本市でもスマホやゲームの利用時間が長い児童生徒もおります。以前、この定例会の中でその辺りの対策について申し上げたこともありますが、粘り強く学校の方も引き続き指導しているような状況もございます。端末が入って直接学校に来られなくても、やり取りができるというのは利点の一つだと思います。居場所づくりという点で、あるいは学びの場の提供という点ではもちろんそれも大切な不登校対策の一つだと思いますが、ただ、今申し上げた人との関係、子どもたちの社会的自立に向けてそこは欠かせないと思っておりますので、そういった点も含めながら粘り強く支援してまいりたいと考えております。以上となります。</p>
<p>教育長</p>	<p>補足させていただきますと、今年度は木戸委員がおっしゃるように、不登校についてはターニングポイントになる年度かと私も思いました。そのようなこともあり、5月中旬に各校長には不登校対策について校長としてのビジョン、対策案を出してほしいということで提出してもらいました。11月に各校長とヒアリングを行うのですが、その中で不登校対策の途中経過ということでこれまでの成果と課題をまとめてもらい、今後も継続して取り組んでいただきたいということをお話ししているところです。なかなか結果としては出てこないものですが、上昇度合いが5年ほど前の上昇の仕方と比べてここ数年はぐんと異なる感じがするだけに、これは本当にどうなっているのかという危機感や不安を自分自身も感じています。委員の皆様からご意見等ありましたら、このことについてもご意見等いただければと思っておりますが、いかがでしょうか。</p>
<p>金子委員</p>	<p>はい、教育長。</p>
<p>教育長</p>	<p>はい、金子委員。</p>
<p>金子委員</p>	<p>不登校についての新聞記事で、突き詰めてみると学力に対する不安、学校の授業についていけないというものが根強いと書いてあったのですが、不登校の子たちの学力的な部分はどのような現状なのでしょうか。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>はい、教育長。</p>

会議の経過

教育長 学校教育課長	はい、学校教育課長。 学校に長期間来ないとなるとどうしても授業を受けられないというのがありますので、支障が出てくるのは実情として一般的にあると思います。ただ、最近そういった中でも、本人の希望等があればオンラインでの学習、あるいは中には相談室に来ている児童生徒もおりますので、教室には行けないけれども相談室からつないで学習するという、そういった補充学習をしながら学力を高めているというようなケースも以前よりは増しております。以上です。
金子委員	今のお話ですと、不登校になってからの学力の保障といった感じですが、もう学校に行きたくないという気持ちになったときの要因がやはり何かあるわけですね。先ほども出ていたとおり、その要因は周りの環境や人との人間関係など様々だと思いますが、今の子どもたちというのは私たちの時代では理解できないような心の中のざわめきや落ち着かなさ、何かしら先に対する不安感というのがあるのかなと思います。原因はわからないのですが、教育長がおっしゃったように確かにこの人数を見て私も非常に不安になりました。以上です。
栗原委員 教育長 栗原委員	関連してよろしいでしょうか。 はい、栗原委員。 ふれあい学級が以前より増えているなど感じます。先日、教育研究所に行ったら8名ほどになってきたということで、徐々にふれあい学級も増えてきていますが、現状を教えていただければと思います。
学校教育課長 教育長 学校教育課長	はい、教育長。 はい、学校教育課長。 委員にも来所していただきありがとうございました。適応指導教室の通級者は、おっしゃるように11月時点では5名でしたが、今日現在では8名になっております。それに加えて、体験等を希望している児童生徒もおります。入級している児童生徒については、前回定例会の際に中学生は1年生女子が2名、それから小学生は5年生と6年生がそれぞれ1名ということで計4名いると申し上げたところですが、新たに加わった児童生徒については小学5年生が1名、中学2年生が2名、中学3年生が1名となっております。5年生につきましては、研究所の中では自分から周りとも関わろうとする様子が見られ、学習課題についても挑戦しようとする様子が見られているという報告を受けております。また、中学2年生につきましては、1人は研究所の中では非常に学習に集中して取り組んでおり、なかなか周りの子との関わりというのが苦手ではあると聞いているのですが、家

会議の経過

<p>栗原委員</p>	<p>庭に帰ったときに研究所に来ている学級生とオンラインで、ゲーム等も含めながらつながっているというような話も聞いております。もう1名の中学2年生は、この子はほとんど欠席なく毎日登所をしているので、学校の部活動にも参加できるようになったということで、そういった中で学校とのつながりが見られているようなところもあります。中学3年生につきましては、進路が関わっているので学習への意識も高くなっているということもあり、ふれあい学級に登所する日でも、少ない時間ではありますが学校へ登校しているというようなところです。私が一昨日見に行きますと大掃除の時間だったのですが、研究所内のふれあい学級に来ている間は本当に不登校なのかなと思えるほど協力しながら掃除にも取り組んでいるような様子が見られました。実際、環境の中での難しさはあるのですが、良さを見出しながら研究所でも支援している状況であります。以上です。誰か関わってくれる人がいればいいですが、学校から訪問してもシャッターを下ろしていたり孤立していたりする保護者や子どもというのが一番心配かなと思います。更にこのような様々な関わる場面があればいいと思います。</p>
<p>教育長</p>	<p>ありがとうございました。それでは処理事務報告に戻りまして、そのほかにございますか。</p>
<p>堀口委員</p>	<p>はい、教育長。</p>
<p>教育長</p>	<p>はい、堀口委員。</p>
<p>堀口委員</p>	<p>7ページの多々良公民館のところに11月21日(火)多々良アート講座とありますが、どのような内容か教えていただければと思います。</p>
<p>生涯学習課長</p>	<p>はい、教育長。</p>
<p>教育長</p>	<p>はい、生涯学習課長。</p>
<p>生涯学習課長</p>	<p>ご説明いたします。こちらの事業は11月21日(火)午後1時半から県立館林美術館において実施されたものです。市内在住の方を対象に募集したもので、17名の参加がございました。内容につきましては、堀内誠一さんという方の絵を鑑賞したものでございます。減免申請を提出したことにより、参加された方は無料で鑑賞することができました。補足ですが、『BRUTUS』や『Olive』といった雑誌のロゴデザインをされた方がこの堀内誠一さんとなっております。そのほかにも様々なデザインをされたとも伺っております。以上でございます。</p>
<p>堀口委員</p>	<p>わかりました。ありがとうございます。</p>
<p>教育長</p>	<p>そのほか、いかがでしょうか。</p>
<p>金子委員</p>	<p>はい、教育長。</p>

会議の経過

教育長	はい、金子委員。
金子委員	20ページの11月行事報告の中で、第75回市民歩け歩け大会の場所が行田市となっていますが、これは行田市の史跡巡りなどを兼ねて行った大会だったのでしょうか。
スポーツ振興課長	はい、教育長。
教育長	はい、スポーツ振興課長。
スポーツ振興課長	ご質問にお答えいたします。この市民歩け歩け大会につきましては、コロナ前は市外を会場として行っておりました。コロナ禍においては市内で開催しておりましたが、今回は市外の本田市を会場として開催いたしました。内容につきましては、館林駅に集合いたしまして本田市駅まで電車で移動、本田市駅から忍城、郷土博物館、水城公園、さきたま古墳公園を巡り、また本田市駅に戻る全長約8キロのコースで開催いたしました。以上です。
金子委員	ありがとうございます。市民歩け歩け大会であったり、地区ごとに公民館主催であったり、歩け歩け大会というのはいくつかありますが、行事があるという情報を得ても、実際何キロ歩くのかなと思うことがあります。いつも歩き慣れている方でしたら気軽に参加できると思いますが、体力的にどうかなと考えたとき、今のお話の場合ですと8キロということで時間的に2時間程度でしょうか、それを目安としていつも大会では歩いているのでしょうか。あまり体力がない人でも気軽にできるコース設定ということで、公民館等主催のときも8キロ程度の設定にしているのでしょうか。
スポーツ振興課長	11月12日に行われたものにつきましては、施設見学等も含めてということで昼食を取りながら6時間かけて歩き、本当にゆっくりとしたペースでの内容でした。また、それ以外に市内で開催している歩け歩け大会やウォーキング大会については5キロから13キロほどとコースによって様々ですが、そういった形で開催しております。春には支部の持ち回りで開催している歩け歩け大会があるのですが、支部内の各種団体の方に声をかけていただいて参加者も募っております。そういった中では子どもから高齢者まで幅広い世代の方に参加していただいております。今年の春に赤羽地区で約10キロの歩け歩け大会を開催いたしました。大きな事故等もなく無事開催することができています。また、休憩等もとりながらということで、普段歩く習慣がない方であっても自分のペースで歩くことによって完歩は可能だと考えております。万が一体調不良になった場合についても事務局の方で後尾車両を用意してありますので、安心して参加していただきたいというふうに思っております。以上です。

会議の経過

金子委員	ありがとうございます。そうですね。参加する人が多ければ多いほど良いですからね。私も少し前向きに出席するようにしていきたいと思います。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
栗原委員	はい、教育長。
教育長	はい、栗原委員。
栗原委員	13ページで学校教育課の報告について、冬休み版学力向上に向けた「家庭学習のすすめ」ということで、どのような内容なのかということと、保護者への周知の仕方について教えていただければと思います。
学校教育課長	はい、教育長。
教育長	はい、学校教育課長。
学校教育課長	冬休み版「家庭学習のすすめ」についてご質問いただきました。これにつきましては、一言で申し上げれば自立を目指した学習の一つというふうに私どもは捉えております。先ほど木戸委員や金子委員の方から、子どもたちが何となくぼんやりとした将来の不安などを抱えているというお話もございました。これまでも冬休みの宿題として与えていたところがあるのですが、それに加えて、やはりそういった正解のない世の中を渡るにあたって、自分から課題を見つけて自分から学びをマネジメントするという力を育成するというねらいから、夏休みに続いてのこの冬休み版という形になります。具体的な内容といたしましては、学習面ではこれまでの学習内容を児童生徒に見直しをさせ、そこから課題を見出して自分のより強い部分を伸ばして弱い部分を克服するというような学習もがございます。また、冬休みだからこそやってみようということで、これは学校教育課の指導主事の英知を集めながら、「調べる」、「使う」、「試す」、「高める」、「作る」という5つの柱を設けまして、いくつかの例を示してあります。例えば「調べる」であれば、冬休みですからお正月のお年玉の由来やお餅がなぜ伸びるのかななどの身近なところからの学習がございます。「使う」というところでは小学校でも英語が入ってきましたので1行日記を英語を使って書いてみようとか、「試す」というところでは駅伝も多くこの冬休みに行われますので、選手の1キロメートルと自分の1キロメートルの違いがあるのか試してみようとか、「高める」というところでは先ほどの情報管理の点もありますが百人一首などを覚えて自分の力を高めるとか、「作る」というところでは1台端末もありますのでオリジナルのカレンダーを作ってみようとか、そういった具体的なものを30個ほど示して各学校で事前学習を行いながら、子どもたちが自分のテーマを設定して取り組んでみるというのが主なものであります。各家庭への周知は学校によって様々

会議の経過

<p>栗原委員 学校教育課長</p>	<p>ですが、冬休みの便りに載せている学校もありますし、11月や12月に授業参観等を行っている学校は懇談会の中で紹介をしてくれたような学校もございます。以上となります。</p> <p>発達段階に応じてその子なりに、ということによろしいですね。</p> <p>おっしゃるとおり、負担にならない程度に発達段階に応じて、ということです。以上です。</p>
<p>栗原委員 教育長 木戸委員 教育長 木戸委員</p>	<p>わかりました。ありがとうございます。</p> <p>そのほか、いかがでしょうか、</p> <p>はい、教育長。</p> <p>はい、木戸委員。</p> <p>16ページの11月行事の中で、11月18日(土)のこどもツナガルフエスについて教えていただきたいと思います。</p>
<p>文化振興課長 教育長</p>	<p>はい、教育長。</p> <p>はい、文化振興課長。</p>
<p>文化振興課長</p>	<p>こちらのこどもツナガルフエスは、文化財を活用した民間のイベントに市で会場提供したり、情報発信に協力したりと、文化振興課で支援する文化財の普及・活性化を目指す文化財ルネツサンスという事業がありまして、そちらに位置づけられた事業になります。これまでは旧モスリン事務所でコンサートをやったり、武鷹館でイベントをやったり、そういった建物の中で事業を行うものを文化財ルネツサンスと位置づけていたのですが、今回のこどもツナガルフエスについては茂林寺沼周辺で行われ、初めて屋外で開催したものをルネツサンスに認定させていただきました。NPO法人のあいずさん、それからNPO法人子どもの居場所OZ、SORANOMONシアター実行委員会、館林食の安全を考える会、こちら4つの団体が主催しております。内容ですが、プレーカーというワンボックスカーに遊び道具や素材を積み込みまして、場所を移動しながら空き地などに臨時的な遊び場を作るといったものが今全国で流行しているらしく、その遊び場で子どもたちを遊ばせたり、オーガニックにこだわった料理や食品の販売をしたりしていました。それから、当初は屋外で映画上映を予定していたのですが、風が強かったので急遽分福公民館で映画上映しました。およそ900人の来場者があり、非常に茂林寺沼周辺が賑わったという報告を受けました。なお、NPO法人のあいずさんについては子どもたちの居場所づくりを一生懸命やっぴていまして、茂林寺商店街に空き店舗があると思いますが、その空き店舗に駄菓子屋をオープンして、子どもたちの居場所づくりを進めようということで、このイベントはそのお披露目的な意味合いが</p>

会議の経過

	強いイベントだったという報告を受けています。以上です。
木戸委員	900人とかなりの人数でしたが、この人数は子どもも大人も含めた全体の人数ということでよろしいのでしょうか。
文化振興課	大人も含めています。特にオーガニックのお店など結構テナントがたくさんあって、大人の方も多く来たということです。ですので、両方を含めた数となります。
木戸委員	ありがとうございます。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
堀口委員	はい、教育長。
教育長	はい、堀口委員。
堀口委員	29ページの施設利用について、現在科学館が工事をしておりまして外壁の部分に幕がかかっています。営業中の看板はかかっていますが、外壁が全て埋まっている状態で入館者等に影響はないのでしょうか。少し減っているというようなことはないのでしょうか。
向井千秋記念子ども科学館長	はい、教育長。
教育長	はい、向井千秋記念子ども科学館長。
向井千秋記念子ども科学館長	外壁工事に伴う入館者数の影響についてお答えいたします。10月に入った頃に仮設工事を開始しておりますので、10月と11月の入館者数前年比を見てみますと、10月は85.6%、11月は資料にありますとおり86.1%となっております。したがって、前年と比較して減少しております。要因についてはなのですが、10月においては今年の10月にふるさとづくり市民フェスティバルを実施していたことなどが考えられます。また、11月においては団体利用者数が今年度減少しております。お話がありましたとおり、開館していることへの周知については囲いに営業中と掲示したり、のぼり旗を立てたりして周知しておりますが、工事現場が通り沿いでもありますので、何らかの影響があるかなというふうには考えております。以上でございます。
堀口委員	ありがとうございます。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
栗原委員	はい、教育長。
教育長	はい、栗原委員。
栗原委員	17ページの埋蔵文化財について、小林遺跡の発掘の概要と、遺跡を調査した結果、貴重な遺物等が出てきたのかお聞かせ願えればと思います。
文化振興課長	はい、教育長。
教育長	はい、文化振興課長。

会議の経過

文化振興課長	<p>小林遺跡は、昨年度も野辺地区の方では場整備事業に伴う試掘調査ということで実施させていただきました。昨年は弥生時代の住居跡が確認されて、少し話題を呼んだことが記憶に新しいところとなります。今回も小林遺跡の同じエリアということですので、期待を込めてトレンチを4本掘らせていただきました。その結果、住居跡が6件分確認されました。古墳時代後期から平安時代にかけての住居跡ということだそうです。どのようなものが出たかといいますと、土師器の土器のほか、紡錘車という糸を紡ぐときに使う道具がありました。イメージとすると、5円玉を二回りほど大きくしたミニドーナツというお菓子がありますが、そのくらいの大きさで中に穴が開いているドーナツ状の石の道具です。あとは漁労に使われます土玉、それから装飾用の勾玉、マカロニのような形をした管玉という首からかける装飾用の部品など、貴重な遺物が発見されました。特に、先ほどお話しした紡錘車は石製の物で非常に綺麗に磨かれていて、半分欠けた状態で発見されました。表面に文字のような文様が見られまして、これがもし文字だとすると結構大きな発見のようです。市内では初めて発見されるような遺物ということで、現在古代史の専門家の先生にお願いをして確認していただいているところです。私も見させていただきましたが、綺麗に石がよく磨かれていて、確かに文字に見えるようなものが掘られていました。今後、その結果を含めまして報告書にまとめて公表していきたいと思っております。以上です。</p>
<p>栗原委員 文化振興課長</p>	<p>掘っているのは何センチ幅のものでしょうか。 トレンチは幅が約3メートル、長さが約35メートルのものを4本掘りました。比較的広い麦畑に掘りまして、今後ほ場整備をまた進めていきますので、来年度以降も新しく試掘を何回かしなくてはならないかなというところです。まだまだこの小林遺跡は興味深い遺跡ですので、今後も期待できると思います。</p>
<p>栗原委員 教育長</p>	<p>すごいですね。ありがとうございます。</p>
<p>木戸委員</p>	<p>そのほか、いかがでしょうか。</p>
<p>教育長</p>	<p>はい、教育長。</p>
<p>木戸委員</p>	<p>はい、木戸委員。</p>
	<p>20ページ、11月5日・12日の県民スポーツ秋季大会ですが、結果を拝見したら昨年が7位、今年が9位ということで少々順位が下がってしまいました。参加スポーツがやはり少ないということとその分が加点されないというところで、館林市が不参加だった競技はバスケの男女、バドミントン、ボウリングで4つありました。この辺りに参加するだけでも総合点</p>

会議の経過

栗原委員	はい、教育長。
教育長	はい、栗原委員。
栗原委員	27ページの科学館の学校等利用ですが、市外小学校が11件、市内の学校とこども園が各1件ということで、恐らくほかの月に利用されているかとは思いますが、小学校の学校利用等についての現状を教えてください。
向井千秋記念子ども科学館長	はい、教育長。
教育長	はい、向井千秋記念子ども科学館長。
向井千秋記念子ども科学館長	市内の小学校等利用の状況についてお答えいたします。4月から11月までの時点におきまして、市内の小学校は9校利用しております。残りの2校につきましては今月利用いたしましたので、全ての小学校が来館したこととなります。以上でございます。
栗原委員	市内の小学校も必ず利用しているということによろしいですね。
向井千秋記念子ども科学館長	ほとんどが4年生で、「空のしくみを調べよう」というプラネタリウムを使った授業を展開しております。中には3年生が利用している場合もありますが、今のところ全ての学校が利用していることとなります。以上でございます。
栗原委員	ありがとうございました。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
堀口委員	はい、教育長。
教育長	はい、堀口委員。
堀口委員	34ページの学校給食の献立を見ると、特別給食といいますか、レシピコンテストの最優秀献立や日本味巡り、クリスマスなど様々なメニューがあります。その中で、日本味巡りの高知にある「ぐる煮」とはどのような郷土料理か教えてください。
学校給食センター所長	はい、教育長。
教育長	はい、学校給食センター所長。
学校給食センター所長	お答えいたします。この「ぐる煮」ですが、「ぐる」というのはあちらの方言で、集まる、集まった、というような意味だそうです。様々な物を煮ているのですが、主には野菜を煮ていることとなります。イメージとすると、けんちん汁のようなダイコン、ニンジン、サトイモ、ゴボウなどが入ったものです。ただ、肉は入っていないので、今回はさつま揚げをカットして入れています。それを出汁と醤油と砂糖で甘塩っぱく煮たようなものだと思います。以上です。
堀口委員	よくわかりました。ありがとうございます。

会議の経過

教育長	そのほか、いかがでしょうか。 (委員から「なし」の声あり)
教育長	ないようですので、事務報告は記載のとおり承認するものとしてよろしいでしょうか。 (委員から「異議なし」の声あり)
教育長	異議なしと認め、記載のとおり承認するものといたします。 次に、日程第5 議事に入ります。 議案第46号及び第47号につきましては、館林市教育委員会会議規則第17条第1項により非公開としたいと思いますが、非公開としてよろしいでしょうか。 (委員から「異議なし」の声あり)
教育長	異議なしと認め、ただ今から教育委員会を非公開とします。該当者については、一時退室を願います。 【傍聴人 退室】 (非公開) 【傍聴人及び事務局対象者 入室】
教育長	次に、日程第6 その他で何かございますか。
生涯学習課長	はい、教育長。
教育長	はい、生涯学習課長。
生涯学習課長	11月の定例会におきまして、堀口委員より名護市との児童交流についてご質問を受けましたが、説明不足もありましたのでその概要について資料をお配りさせていただきました。ご一読いただければと思います。よろしくお願いたします。
教育長	そのほかにごございますか。
文化振興課長	はい、教育長。
教育長	はい、文化振興課長。
文化振興課長	お手元にお配りした資料をご覧ください。12月の中旬にかけて、新聞紙上で多々良沼遺跡の製鉄伝説は本当だったというような記事が大きく取り上げられました。そちらの概要を改めて説明させていただきます。今回の調査概要につきまして、多々良沼では冬場になりますと水位が下がりまして、そこにカナクソと呼ばれる鉄滓、スラ

会議の経過

グが沼底から出てまいります。この鉄滓を沼に入って拾い上げまして、その成分を専門機関で分析させていただきました。これまで日向地区に伝承されていた伝説で、万寿2年、1025年頃に宝日向という人物が沼の北岸で炉に空気を送り込むふいご、それをタタラと呼ぶのですが、そのタタラを据えて釜の鑄造を始めたという伝説がございました。それが日向という地名の由来にもなっているのですが、この伝説の鉄滓を年代測定させていただいた結果、伝説の1025年より古い8世紀後半から10世紀、年代にすると700年代後半から900年代、奈良・平安時代の物ということがわかりました。つまり、今回の調査によりまして、多々良沼の地名の由来でありますタタラ製鉄が、実際にこの地で行われていたという点、それから製鉄の年代が伝説よりずっと以前から行われていたというこの2点が科学的に証明できたということを発表させていただきました。今後については、市史の調査の中で製鉄場所の特定や鑄造方法、製鉄の材料、それから今伝承されている伝説の背景など、考古学的、歴史学的、民俗学的に幅広い見地から調査研究を進めてまいりたいと思っております。なお、今回の記者発表により、上毛新聞、それから朝日、毎日、読売、東京の群馬版にトップ記事として大きく掲載されました。朝日新聞に至っては読者の反応が良かったのか埼玉版にも大きく取り上げられまして、かなりのパブリシティ効果があったと思っております。こちらの記事については以上となります。それともう1点、文化会館のトイレ工事につきまして、トイレが昨日から利用可能となりました。大変ご迷惑をおかけしました。小ホール、会議室、宴会場、それからカフェの利用者の皆さんには9月の中旬からご迷惑をおかけしていたのですが、宴会場での忘年会予約が多々入っておいりましたのでそれまでに何とか間に合い、ほっとしております。今後は大ホールの楽屋と職員用事務室の隣に小さなトイレがあるのですが、その2か所の工事を進めてまいりますので、今年度までいっぱい使用させていただきたいと思っております。一般の利用については、普通に使えます。ぜひともご利用いただいて、感想など聞かせていただければと思います。以上となります。

教育長

そのほか、いかがでしょうか。

(委員等から「なし」の声あり)

教育長

ないようですので、以上で本日の全日程を終了します。

これにて教育委員会を閉会します。

(午後4時39分)